

4月14日

2021年
(令和3年)

水曜日
第19787号(日刊)
土・日曜・祝日は休刊

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

金鉄 鋼鋼 衆斤 昆貝

北陸・信越版

日鉄工材

日本経営
品質賞受賞

新潟県知事に報告

宮原社長 「社員のやりがい創出に努力」



受賞を報告する宮原社長（左端）

日本製鉄グループで、新たな活動が評価され、チタン製電着ドラム等の日鉄工材（本社・上越市、社長・宮原光雄氏）は昨年12月に日本生産性本部から経営革

新の活動が評価され、日本経営品質賞を受賞した。新潟県内企業として初受賞。9日、宮原社長、玉巻秀泰常務、川野朋生総務部グループ長が新潟県庁で花角英世知事を表敬訪問した。

改善を続け、今回の受賞に結実した。日本経営品質賞受賞では、顧客と自社の成長戦略を親和させる取り組みや世界最高峰のチタン製電着ドラム「APLEX®」、課題ごとの全社横断プロジェクトチーム、高い生産性を維持する一貫管理の統合型ものづくりが評価された。

ライフ・バランスを重視したハッピー休暇制度や福利厚生施設「ミラクリエ」での健康経営や上越地域のPR活動が評価された。

宮原社長は「社員のやりがい創出やお客様、地域への貢献を新しい業務へのモチベーション、業績向上につなげたことが評価いただいた」と報告。花角知事は「リーダーの強い決断があったと推察される。非常にきめ細かく対応され、さらなる挑戦と成長を期待する」と語った。

同社は15年に新潟県経営品質賞を受賞、17年同知事賞を受賞。当時の提出を受け、加えて、ワーク・

「個人と組織が成長することで社会の変化に対応していく」と宮原社長。社員と組織の良好な関係は一体感を生み、全体最適志向で行動できる組織風土に変革を遂げた。

高機能な電着ドラム生産を今後も継続。設備の能力増強や構内の整流化、品質や耐久性向上、製品メンテナンスなどで対応していく方針だ。